

オーバー ドライブ スイッチがつながっています

ODスイッチ

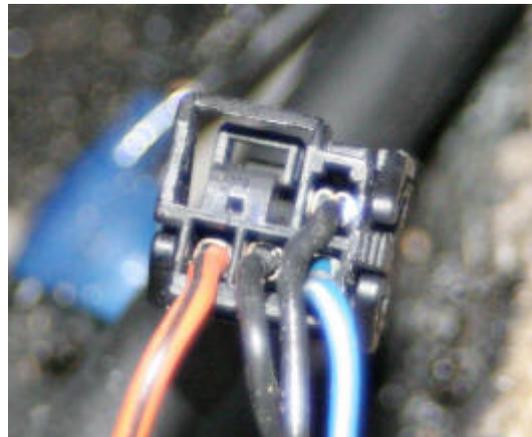
Over-Drive Switch
(コネクタ表)

Y31シーマおよびY31セドリック・グロリアに適用



ODスイッチ

A/Tインジケータイルミネーションランプのコードも一緒です
(コネクタのオス側とメス側でコードの色が異なります)

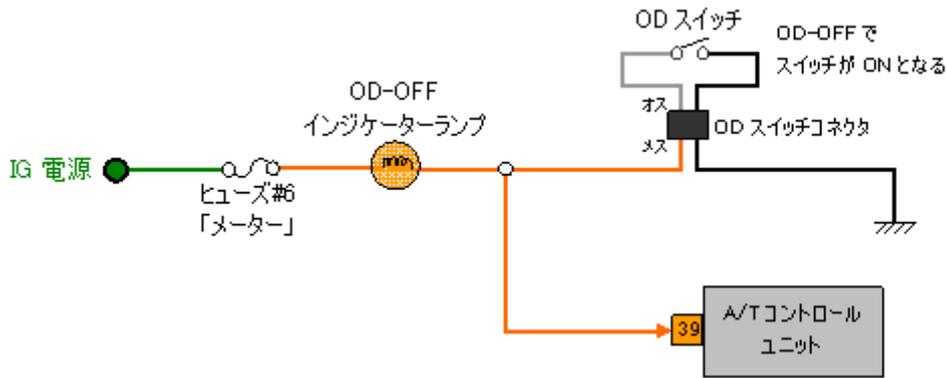


コネクタのメス端子につながっているコード側から撮ったもの



コネクタ色: 黒

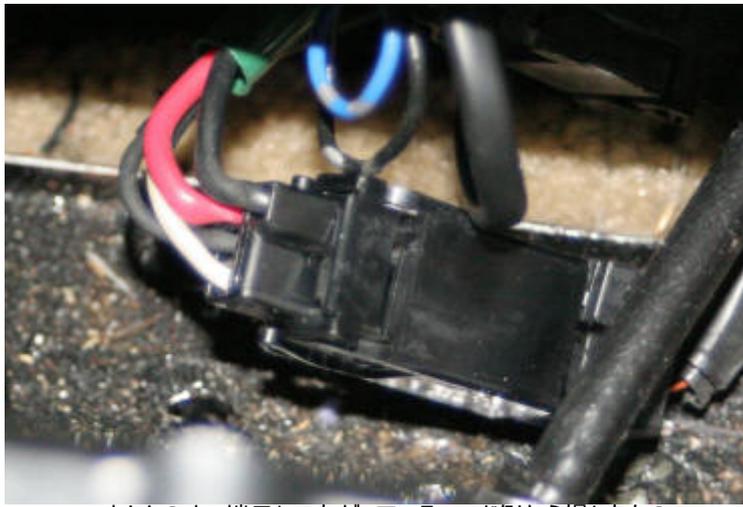
配線図



※A/Tインジケータランプの配線図は省略してあります
 ※ODスイッチを増設する場合は、既存のODスイッチと並列につなぎます

コネクタ表

端子 No.	名称	コード						電圧	内容					
		メス側			オス側									
		色	帯	太さ	色	帯	太さ							
1	ODスイッチ	橙	黒	細	白	細	約12V / 0V	<p>ODスイッチのプラス側につながっている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ODスイッチ</th> <th>電圧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>約12V</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>0V</td> </tr> </tbody> </table> <p>IG電源(車室内のヒューズ#6(メーター))からOD-OFFインジケータランプを通ってくるため、バッテリー電圧がそのまま出ているわけではない。</p> <p>ここからA/Tコントロールユニットの端子No.9(後期は端子No.39)に信号が入力される。</p> <p>OD-OFFインジケータランプが球切れした場合には、ODスイッチを「ON」にしても電圧は0Vのままとなる。</p> <p>ODスイッチが「OFF」のときは端子No.2および端子No.3のアースにつながる。これによりOD-OFFインジケータランプのマイナス側がアースにつながるため、点灯する仕組みである。</p> <p>※ここから電源を取り出すことはできない。この端子に負荷を加えた場合、ODスイッチが「ON」の状態でもODインジケータランプが点いたり、A/TコントロールユニットでOD-OFFと認識される恐れあり。つまりは、故意にアースするとOD-OFF状態となる。</p> <p>※愛車では、デュアルモードマフラーのマフラーバルブをODスイッチ連動にするため、この端子とマフラーコントロールユニット(改)の「コントロール入力」につないでいたことがある(問題なく作動していた)。</p>	ODスイッチ	電圧	ON	約12V	OFF	0V
ODスイッチ	電圧													
ON	約12V													
OFF	0V													
2	アース	黒		細	黒	細	0V	常に0V。						
3	A/Tインジケータイルミネーションランプ	青	白	細	赤	細	12V/0V	<p>A/Tインジケータのイルミネーション電源。</p> <p>ライトスイッチを「ON」(スモール)にすると、12V。それ以外は0V。</p>						
4	アース	黒		細	黒	細	0V	常に0V。						



コネクタのオス端子につながっているコード側から撮ったもの
白コード=橙コード、赤コード=青コードに対応している



A/Tセレクトレバーの下側の配線
A/Tインジケータイルミネーションランプの電球は3.4W、200mA(緑色のカバー付き)

関連ページ

- 基本資料 ~ [A/Tの自己診断機能](#)
- コネクタ表 ~ [A/Tコントロールユニット\(前期仕様\)](#)
- コネクタ表 ~ [A/Tコントロールユニット\(後期仕様\)](#)
- コネクタ表 ~ [A/Tモードスイッチ](#)

スポンサーリンク

[ホーム](#) | [サイトマップ](#) | [このサイトについて](#) | [ご利用条件](#) | [プライバシーポリシー](#)